

# トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド



## グローバル企業としてのトヨタ自動車の魅力

平素は「トヨタ自動車／トヨタグループ株式ファンド」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの組入銘柄等についてご紹介致します。

### ①当ファンドについて

#### ファンドの特色

- 1 「トヨタグループ株式マザーファンド」を通じて、トヨタ自動車およびそのグループ会社の株式に投資し、これらの銘柄群の動きをとらえることを目標に運用を行います。
- 2 「トヨタグループ株式マザーファンド」は、下記一定基準に基づき、規則的な運用を行います。
- 3 株式の実質組入比率は、通常の状態では高位を保つことを基本とします。

#### ファンドの運用プロセス（トヨタグループ株式マザーファンド）投資イメージ



\* 2022年4月4日の東京証券取引所市場区分の見直しに伴い変更される予定です。

※ 当ファンドは、あらかじめ決められた一定の方針にて投資を行うファンドであり、銘柄選定や組入比率操作等による追加収益を追求するファンドではありません。

※ 当ファンドは、投資対象となるトヨタ自動車およびそのグループ会社より投資元本および運用成績を保証されるものではありません。

※ 上記の運用プロセスは2021年5月末現在のものであり、今後変更される場合があります。

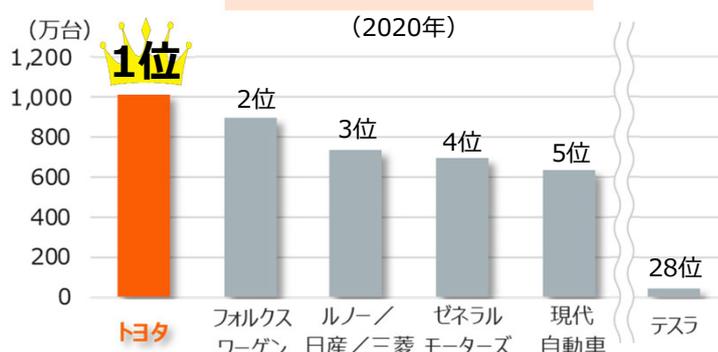
## ②コロナ禍においても業績堅調なトヨタ自動車



### 2020年の自動車販売台数1位に

- 2020年の自動車販売台数は、北米、西欧、アジアなどの主要地域で減少幅を抑えられたほか、中国で前年比プラスとなったことなどから、**トヨタグループが1位**となりました。
- トヨタ自動車の2020年度の地域別販売構成比率は国内が28%、北米が30%、アジアが16%を占めています。

### グループ別自動車販売台数



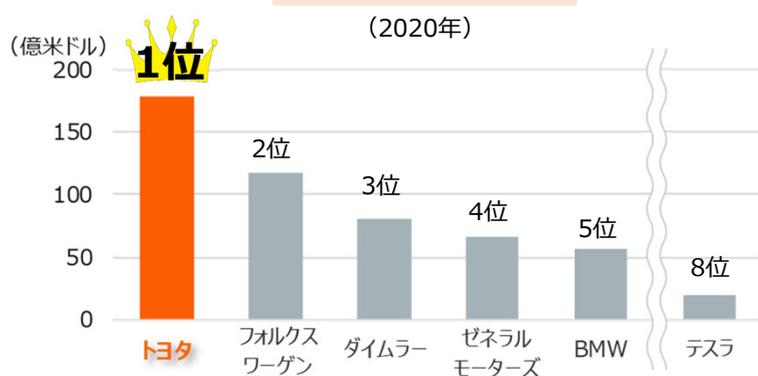
(出所) FOURIN「世界自動車統計年刊」(2021年版)の情報を基に委託会社作成



### 今後も成長が期待されるトヨタ自動車

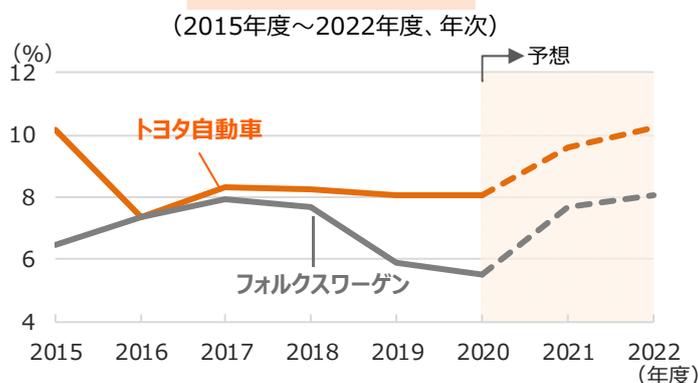
- コロナ禍においても、**トヨタグループの最終利益(2021年3月期の連結決算)は前期比+10.3%と増益**となりました。
- 営業利益率は足元で横ばいの推移となっているものの、今後はコロナショックからの回復、自動運転車の普及などにより業績成長が期待されています。

### グループ別営業利益



(出所) FOURIN「世界自動車統計年刊」(2021年版)の情報を基に委託会社作成

### 営業利益率の推移



(注1) トヨタ自動車は3月決算、フォルクスワーゲンは12月決算の数値。

(注2) 2021年度以降はBloombergの予想値。

(出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

\*グループの分類は株式20%超を保有しているメーカーをひとつのグループとみなしています。合併生産会社については、自社ブランドの販売台数のみを販売台数として集計しています。

※ 上記は過去の実績および将来の予想であり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※ 個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

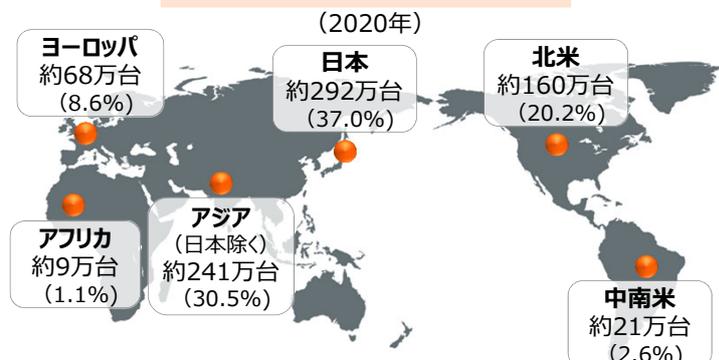
### ③世界レベルのトヨタグループ企業



#### 世界中の生産拠点でこれまでに2億台以上の自動車を生産

- トヨタ自動車はこれまで2億台以上の自動車を生産しており、**日本国内だけでなく海外26の国や地域にも工場を保有**しています。
- 関連する世界中の生産、販売、部品会社では、約36万人が働いています。

#### トヨタ自動車の自動車生産台数



(注) カッコ内の数値は2020年の総生産台数に対する各地生産台数の割合。  
(出所) トヨタ自動車の開示資料を基に委託会社作成



#### 高い技術力を持つ部品メーカー

- 環境技術や安全技術等、トヨタグループの高い技術力は世界の自動車メーカーにその需要が広がっており、**特にデンソー、アイシンは世界自動車部品メーカーの中でも売上高上位**となっています。
- デンソー、アイシンはグループ以外との取引も活発で、2020年度のトヨタグループ外への売上高比率は約4割を占めています。

#### 世界自動車部品メーカーの部品事業売上高上位10社

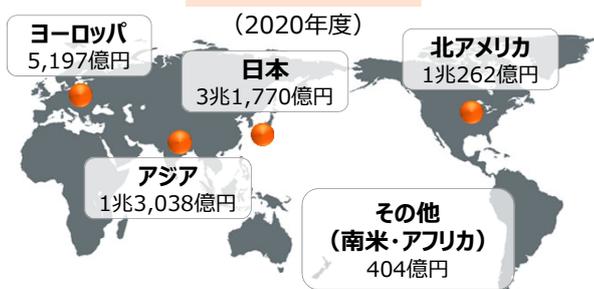
順位	社名 (本社所在地)
1	Bosch (独)
2	デンソー (日)
3	ZF (独)
4	Continental (独)
5	現代MOBIS (韓)
6	アイシン (日)
7	Magna International (加)
8	Marelli (日)
9	潍柴動力 (中)
10	Valeo (仏)

(注) データは2020年 (日本企業は2020年度)。  
(出所) FOURIN「世界自動車調査月報2021年7月」を基に委託会社作成

#### デンソー

国内最大手の自動車部品メーカーであるデンソーは、車両の動きを制御する主電子制御ユニット (ECU) などを開発し、自動車の電動化・自動化に大きく貢献しています。

#### 地域別売上収益



(出所) 各社HPの情報を基に委託会社作成

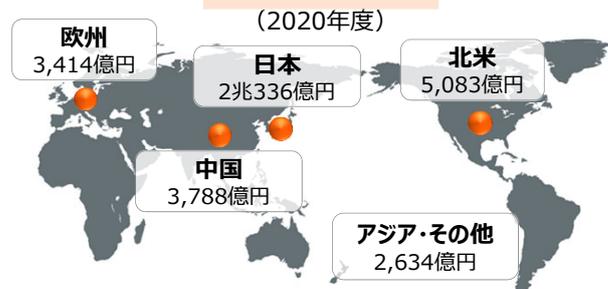
※ 上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※ 個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

#### アイシン

自動車部品メーカー大手のアイシンでは、技術力を活かして電気自動車の動力源となるEVユニットなども製造しており、さらなる飛躍が見込まれます。

#### 地域別売上収益



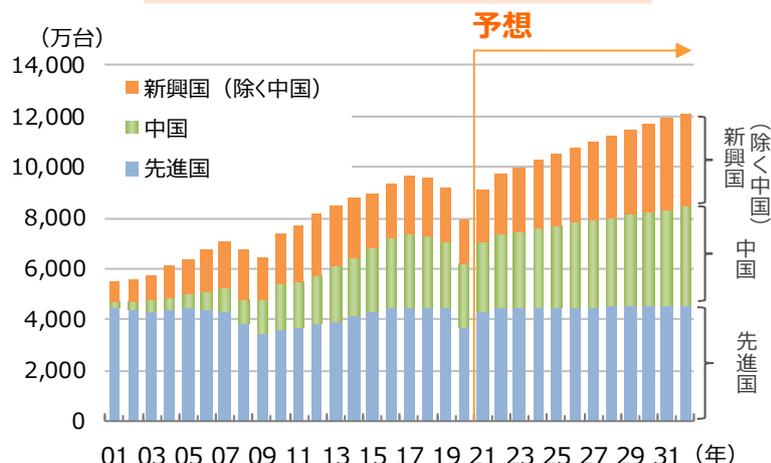
## ④ 今後も世界の自動車需要の増加が見込まれる



## 世界市場の拡大は当ファンドにとっても追い風に

- 2020年の世界の自動車販売台数は新型コロナウイルス感染拡大の影響から減少しましたが、**2021年はコロナワクチンの普及により世界経済が回復傾向で推移していることから、増加に転じる見込み**です。
- また一人当たりの自動車保有率が低い新興国などで、自動車需要が高まると予想されることから、中長期的にも増加すると予想されています。
- 当ファンドでは「トヨタグループ株式マザーファンド」を通じて、**トヨタ自動車だけでなく、グループ会社にも投資を行うため、世界の自動車需要の増加の恩恵をより享受することが期待**されます。

## 世界の自動車販売台数の実績と予想



(注) 世界の自動車販売台数の実績と予想は、2001年～2032年。2021年以降はFOURINの予想。  
(出所) FOURIN「世界自動車統計年刊」(2021年版)のデータを基に委託会社作成

## ⑤ 足元の運用状況

## 基準価額と純資産総額の推移

(2003年11月14日(設定日)～2021年10月29日)



(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

(注3) 比率は当資料作成時点のものです。過去の各期間において同じ比率で株式を組み入れていることを示すものではありません。

## 組入上位10銘柄

(2021年10月29日現在)

	銘柄	比率(%)
1	トヨタ自動車	49.3
2	デンソー	18.5
3	豊田自動織機	9.0
4	豊田通商	5.0
5	S U B A R U	4.9
6	アイシン	3.5
7	小糸製作所	3.0
8	日野自動車	1.8
9	トヨタ紡織	1.2
10	ジェイテクト	1.0

※ 上記は過去の実績および将来の予想、当資料作成時点の見通しであり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは7ページをご覧ください。

※ 個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

## ファンドの特色

1. 「トヨタグループ株式マザーファンド」を通じて、トヨタ自動車およびそのグループ会社の株式に投資し、これらの銘柄群の動きをとらえることを目標に運用を行います。

- グループ会社とは、トヨタ自動車の有価証券報告書、四半期報告書およびこれらに準じる公開情報に開示される連結子会社、持分法適用関連会社をいいます。（以下、同じ。）
- 当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。したがって、実質的な運用は、「トヨタグループ株式マザーファンド」で行います。

2. 「トヨタグループ株式マザーファンド」は、下記一定基準に基づき、規則的な運用を行います。

### 【組入銘柄の決定】

- トヨタ自動車およびそのグループ会社のうち、日本の取引所第一部に上場している株式から流動性を勘案した銘柄（原則として、東京証券取引所第一部上場銘柄）に投資します。

### 【組入銘柄の投資比率の決定】

- 原則として、銘柄の投資比率は、組入銘柄の時価総額に応じて決定します。
- トヨタ自動車株式の時価総額が組入銘柄の時価総額合計の50%を超える場合は、トヨタ自動車およびそのグループ会社全体の動きをとらえるために、トヨタ自動車株式の投資比率を約50%までとします。また、残りの約50%を、グループ会社株式の各銘柄の時価総額に応じた比率で投資します。

※トヨタグループ株式マザーファンドには、投資比率が非常に高い銘柄が存在します。ファンドは、トヨタ自動車およびそのグループ会社の株式の値動きをとらえることを目標に運用を行っているため、基準価額は、当該銘柄群の株価変動の影響を大きく受けます。

### 【投資比率の調整、銘柄の変更等】

- 組入銘柄の投資比率の調整は、原則として四半期毎に上記【組入銘柄の投資比率の決定】で規定する基本方針に基づき行うこととします。

なお、追加設定・解約等により、四半期中にファンドの資金の増減がある場合、または各銘柄の投資比率が目標とする投資比率より想定以上に乖離した場合等には、当該銘柄の買付・売却を行います。

- 投資対象銘柄の変更・追加・削除等については、トヨタ自動車の有価証券報告書、四半期報告書およびこれらに準じる公開情報の開示に基づいて行います。

※当ファンドは、あらかじめ決められた一定の方針にて投資を行うファンドであり、銘柄選定や組入比率操作等による追加収益を追求するファンドではありません。

※当ファンドは、投資対象となるトヨタ自動車およびそのグループ会社より投資元本および運用成績を保証されるものではありません。

3. 株式の実質組入比率は、通常の状態でも高位を保つことを基本とします。

- ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められた比率を超えて特定の発行体が発行する銘柄等に集中投資を行う特化型運用ファンドに該当します。
- トヨタ自動車株式の純資産総額に対する比率は約50%までとします。ただし、同社以外のグループ会社の各株式の純資産総額に対する比率は35%を超えないものとします。
- ファンドは、トヨタ自動車およびそのグループ会社の株式に集中して投資を行うため、当該銘柄に経営破たんや経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

※ 資金動向、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったとき、グループ会社の定義等に大きな変更があった場合等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

### ■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

## ■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 投資銘柄集中リスク

ファンドは、トヨタ自動車およびそのグループ企業の株式に限定して投資するため、銘柄構成が特定業種に集中する傾向や個別の銘柄の組入比率が高くなる傾向があり、基準価額が大幅にまたは継続的に下落する可能性があります。また、日本の株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。

## ■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  - 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  - 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

## お申込みメモ

## 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

## 購入価額

購入申込受付日の基準価額

## 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

## 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

## 換金価額

換金申込受付日の基準価額

## 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 信託期間

無期限（2003年11月14日設定）

## 決算日

毎年11月13日（休業日の場合は翌営業日）

## 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

※分配金自動再投資コースを取り扱う販売会社によっては、分配金を定期的に受け取るための契約を締結できる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に**1.65% (税抜き1.50%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額  
ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に**年0.759% (税抜き0.69%)**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a> コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会 一般社団法人	一般社団法人 投資信託協会	備考
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第370号	○				
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○		○	○	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○				
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○	
F F G証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第5号	○				
O K B証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○		○	○	
くんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2938号	○				
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第37号	○				
十六T T証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○				
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第99号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○	○			
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○				
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○				
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○				
ほくほくT T証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○			○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○				
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○	○			
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第185号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第12号	○				
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○			○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○				
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○			○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○				
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○				
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第7号	○				

## 販売会社

販売会社名	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会 一般社団法人	一般社団法人 投資信託協会	備考
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○					
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○			○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○					
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○			○		
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○					
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○					
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第17号	○					
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第8号	○					
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第19号	○					
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○			○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○			○		
Pay Pay 銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○					
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○			○		
旭川信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第5号						
足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第144号						
尼崎信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第39号	○					
遠州信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第28号						
大垣西濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第29号						
大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第19号						
岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第30号	○					
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○					
蒲郡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第32号						
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第34号						
きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第51号						
吉備信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第22号						
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第35号	○					
京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第54号						
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第234号						
桑名三重信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第37号						
しのめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第232号						
静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第43号	○					

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
西武信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第162号	○					
関信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第45号						
瀬戸信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第46号	○					
高山信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第47号						
但馬信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第67号						
館林信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第238号						
知多信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第48号						
東春信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第52号						
東濃信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第53号	○					
栃木信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第224号						
豊川信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第54号						
豊田信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第55号	○					
豊橋信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第56号						
長野信用金庫	登録金融機関 関東財務局長（登金）第256号	○					
西尾信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第58号	○					
沼津信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第59号						
浜松磐田信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第61号						
半田信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第62号						
尾西信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第63号						
兵庫信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第81号	○					
碧海信用金庫	登録金融機関 東海財務局長（登金）第66号	○					
米沢信用金庫	登録金融機関 東北財務局長（登金）第56号						

## ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- TOPIXは、株式会社東京証券取引所が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

## 重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

作成基準日：2021年10月末